

第93回メーデー宣言



本日、私たちは「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義の日本をめざそう」のスローガンを掲げ、働く者の権利を守り、労働環境の改善、市民生活の向上、安心して暮らせる街づくりのため、同じ地域で働く仲間の団結・連帯を強め、要求実現をめざして、ここに集いました。

様々な要因で物価が高騰している中、労働者の実質賃金は低迷を続けており、年金も毎年引き下げられています。一方で、人口減少と高齢化が進むなかで税金や社会保険料の負担は増大し、さらに、賃金の男女格差や地域格差、教育不平等が顕在化し、社会的格差と貧困が広がっています。また、多くの非正規労働者が不安定な雇用環境におかれ、コロナ禍で多くの方が職を失い、女性への性暴力、DVが増えるなどジェンダー問題が明らかになりました。

日本のジェンダー指数は156ヶ国中120位と先進国で最下位であり、あらゆる分野において男女が共に家庭と仕事の両立ができるポストコロナ社会が望まれます。私たちは人間らしく働き、豊かなくらしを実現するために、すべての労働者の賃金・労働条件の底上げと雇用の安定、ジェンダー平等を求めます。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ世界中で猛威を振るっています。医療・介護をはじめ、生活を支える社会基盤の維持のため、多くの仲間が日々全力で立ち向かっていることに最大限の敬意と感謝を表明します。しかし、長期化するコロナ対応で、医療機関や介護・保育施設では人手不足が深刻化しており、スタッフの心身の疲労度は限界に達しています。命とくらしを守る仕事に見合った処遇改善と体制強化が急務です。

東日本大震災・原発事故から11年が経過しました。いまだ故郷へ帰れず困難な生活を余儀なくされている被災者が3万7千人もいる中、復興予算が削られ、被災者補償や家賃支援がなくなるなど、国の姿勢が問われています。被災地・被災者に寄り添い、決して震災・原発被害を風化させてはなりません。福島第一原発の廃炉に向けた作業では、処理水の海洋放出による風評被害の問題、燃料デブリの取り出しなど課題は山積しています。東日本大震災からの復興と原発に依存しない持続可能なエネルギーや社会の実現をめざし、緊急課題として特に危険な東海第二原発の再稼働に反対します。

ロシアによるウクライナ侵略は国連憲章、国際法に違反しており絶対に許せません。ロシア軍の即時撤退を求めます。ロシアによる核兵器使用の危機に直面している今こそ、唯一の戦争被爆国として国際社会のなかで核兵器廃絶への取り組みを主導するよう政府に求めます。私たち国民、労働者は、第二次世界大戦という大きな犠牲を払って獲得した日本国憲法と民主主義を守り、国民の自由と命と暮らしが守られる社会、核兵器のない平和な世界の実現をめざします。

私たち働くものの団結で、希望のもてる社会を次世代につなぐことを、ここに宣言します。

2022年5月1日

第93回つくば中央メーデー